

平成 25 年 10 月 4 日

報道機関 各位

福井市市民生活部市民協働・国際課
課長 村西 正明（公印省略）

福井市ニューブランズウィック市姉妹都市提携30周年記念事業に係る福井市訪問団の派遣について

みだしの事業を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

記

1. 訪問目的

福井市とニューブランズウィック市の姉妹都市提携30周年を記念し、両市民の友好関係のさらなる発展の合意を図ることを目的に、福井市長及び福井市議会議長をはじめとする行政関係者がニューブランズウィック市を訪問する。現地では、ニューブランズウィック市長の表敬訪問や姉妹都市盟約確認書の調印、福井市国際文化交流大使（FCA）に関する合意、また、姉妹都市提携のきっかけとなった日下部太郎とウィリアム・エリオット・グリフィスに関連する施設の訪問等を行う。

（なお、本事業は昨年秋に実施予定だったが、渡航直前に米国東海岸を襲ったハリケーン「サンディ」により、ニューブランズウィック市にも甚大な被害があり、延期となった。）

2. 日程

10月8日（火）～10月13日（日）4泊6日

（※市長は、10月8日（火）～10月12日（土）3泊5日）

3. 訪問者について（計15名）

福井市長、福井市議会議長、福井市議会議員8名

秘書課長、市民協働・国際課長、議会事務局庶務課長ほか2名

4. 主な日程

- 10月8日（火） 成田空港→JFK 空港→ニューヨーク市
市内視察（アメリカ自然史博物館（ヘイデンプラネタリウム）視察）
ニューヨーク市→NB 市
- 10月9日（水） 市長表敬（姉妹都市盟約確認書の調印）
日下部太郎墓地訪問及び記念植樹
ニューブランズウィック公立図書館訪問（1982年姉妹都市提携記念モニュメント、福井市の児童生徒の絵画作品見学）
DEVCO（ニューブランズウィック開発公社）によるNB市の講演・視察
ラトガース大学 ジマーリ美術館視察
ラトガース大学（日本語クラブ）学生との交流会
ホームビジット
- 10月10日（木） リビングストン小学校訪問
ニューブランズウィック高校訪問
ラトガース大学 アレクサンダー図書館視察
ジョンソン&ジョンソン視察
姉妹都市提携30周年記念式典
- 10月11日（金） NB 市→ワシントン市
市内視察（スミソニアン航空宇宙博物館等視察）
- 10月12日（土） ワシントンダレス空港（→10月13日（日）成田空港）
※NB市滞在中（9日（水）～10日（木））に福井市国際文化交流大使（FCA）に関する合意を行う

裏面へ続く

5. 主な行事

- ・市長表敬
- ・姉妹都市盟約確認書の調印
- ・福井市国際文化交流大使（FCA）に関する合意
- ・姉妹都市提携30周年記念式典出席
- ・日下部太郎とウィリアム・E・グリフィス関連施設の視察
（日下部太郎墓地訪問、アレクサンダー図書館では、学芸員による講演や「グリフィスコレクション」の視察、また、ジマーリ美術館では、「日下部・グリフィス・ジャポニズム・ギャラリー」の視察を行う。）
- ・そのほか、リビングストーン小学校訪問やラトガース大学日本語クラブ学生との交流会、ホームビジット等を通して、ニューブランズウィック市民と交流を深める。
なお、ニューヨーク市及びワシントン市では、JR福井駅西口再開発ビルに市自然史博物館分館（ドームシアター）が整備されることや、本市とJAXAが宇宙教育に関する協定を締結する関連から、アメリカ自然史博物館へイデンプラネタリウムやスミソニアン航空宇宙博物館を視察する。

6. 福井市国際文化交流大使（FCA）に関する合意について

文化交流大使の招聘は、福井市の国際化を推進することを目的として、平成23年8月から実施している。

当初は、「フラトン文化交流大使（FCA）」として実施していたが、本年8月から、「福井市国際文化交流大使（FCA）」に名称を変更。主な活動は、小学校3、4年生や公立保育園児童を対象とした国際理解促進活動をはじめ、地域での講座や情報発信など、広く福井市の国際化推進業務に従事している。

姉妹都市提携30周年を契機に、本事業のさらなる拡充を図るために、ニューブランズウィック市からの人材招聘について、福井市とニューブランズウィック市の間で合意を行う。

<FCAの現在の主な業務>

- ① 小学校3、4年生の国際理解促進活動【対象：市内全小学校 1クラスにつき年3～4回程度】
小学校3、4年生の「総合的な学習」の時間を利用した国際理解促進活動。
- ② 保育園での国際理解促進活動【対象：市内保育園 今年度は希望する園にのみ派遣】
保育園での園児を対象とした国際理解促進活動。
- ③ 小中高校での取材・発信【今年度10月から実施予定。月1～2回程度】
小中高校の部活動や学校行事を取材し、活動内容や交流内容をフラトン市に発信。
- ④ 地域への出前講座【随時】
公民館や児童館などでの文化紹介や語学などの国際理解・語学講座への派遣。
- ⑤ 情報発信【随時】
福井市の魅力（文化・歴史・観光等）を英語・日本語のブログ等で発信。
- ⑥ 福井の里親プログラム（ホームビジット）【年2～3回程度】
福井市の家庭等でホームビジットを行い、福井市の生活体験や家族との交流を図る。
- ⑦ 市職員コミュニケーション研修【年1～2回程度】
主に窓口業務職員を対象に、語学力・コミュニケーション力等の向上を目的とした研修を実施。

7. ニューブランズウィック市概要

●提携日：1982年(昭和57年)5月25日(31年目)

●位置：ニューヨーク市の南西約50Km
北緯40°49” 西経74°45”

●時差：-14時間(夏時間中-13時間)

●面積：13.5K m²

●人口：5.5万人(2010年)

●主な交流：小中学生国際交流作品展

全米姉妹都市インターナショナル中・高校生絵画展

ジュニア大使派遣受入事業(1991年～ 受入5回 計32名 派遣8回 計73名)

●姉妹都市提携の経緯

慶応3年(1867年)、福井藩初の海外留学生として、日下部太郎が渡米し、ニューブランズウィック市のラトガース大学で学んだ。日夜勉学に励み、優秀な成績を修めた日下部だが、貧しい生活の中で、過労から病に倒れ、26歳(数え年)の若さで死去。当時、日下部は、ラトガース大学入学前に大学の附属中学校であるグラマースクールに入ったが、そこで日下部にラテン語を教え、交流があったウィリアム・E・グリフィスは、志半ばで亡くなった日下部の友情に報いるため、福井行きを決断し、福井の藩校である「明新館」で英語や物理、化学などを教えた。

福井市とニューブランズウィック市とは、日下部とグリフィスの時代からおおよそ100年後の昭和49年(1974年)、郷土史を研究していた青年会議所が、日下部太郎の足跡を訪ねるため渡米したことが契機となり、その交流が再び始まった。さらに、福井大学とラトガース大学の間での、昭和56年(1981年)の姉妹大学盟約締結などをきっかけとし、昭和57年(1982年)5月25日、福井市とニューブランズウィック市の両市長は、両市の永遠の友好を約束し、姉妹都市盟約書に調印の運びとなった。



<問い合わせ>

福井市市民生活部市民協働・国際課
担当 久保(20-5300)